

議 事 録

議事の内容	R5年度第一回誰もが遊べる公園広場整備のためのガイドライン検討会議		
開催日時	令和5年12月16日(土) 開会: 10時00分 閉会: 12時00分		
開催場所	守谷市役所 1階 大会議室		
事務局(担当課)	都市整備部建設課		
出席者	委員	町田委員長、藤田委員、古谷委員、清委員、須賀委員、奥谷委員 青山(秀)委員、草間委員、村山委員、小路委員、椛澤委員、藤門委員、長津委員、小菅委員、青山(真)委員、浅野委員 (出席16名/16名)	
	事務局	(建設課)奥野課長、鈴木課長補佐、飯沼係長、遠藤主任、武藤主事、稲葉主事 (ジャクエツ)上野氏、澤村氏、白井氏、瀬尾氏 (オオバ)望月氏、出口氏 (計12名)	
公開・非公開の状況	<input type="checkbox"/> 公開	<input checked="" type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部公開
公開不可の場合はその理由	傍聴者数 0人		
議事次第	1 開会・委嘱状交付 2 自己紹介 3 会長挨拶 4 協議事項の説明 5 意見交換 6 今後のスケジュールの説明 7 その他説明 8 閉会		
確定年月日	会議録署名		
令和6年1月19日	町田 誠		

## 審議経過

### 1 開会・委嘱状交付

- ・委嘱状交付 - 代表して梶澤様が受け取り

### 2 自己紹介

### 3 会長挨拶

### 4 協議事項の説明

- ・事務局より、守谷市誰もが遊べる公園広場整備ガイドライン策定業務の資料説明（A3）

### 5 意見交換

- ・奥谷委員：みずき野地区の高齢化が進んでいる地域という話があったが、実際は若い世代の世帯も増えてきているので、高齢化とは言えないのではないか。また、使われていない公園がある。子どもたちに聞いたところ、虫がいたり薄暗いなどの意見があった。
- ・藤田委員：北守谷地区も新しい世帯が増えてきた。
- ・藤門委員：公園の利用率はどう調べたのか。実態をしっかりと把握してデータを出してほしい。立沢公園のインクルーシブ公園の計画の時のようなことがないよう、地域住民の声を吸い上げてほしい。
- ・青山委員：ソフトの部分で今ある公園にいかにかに人に来てもらえる公園にするか、ハードの部分でトイレや遊具の設置など大人が行ける公園作りなどを検討してはどうか。例えば、アンデルセン公園が参考になると思う。ブランコや滑り台、砂場の必要性はあるのか。なんでもできる公園（ゴルフのパター、ドックランなど）も検討して欲しい。
- ・町田会長：児童公園が作られ始めた頃は、ブランコ、滑り台、砂場を作らないといけなかった法律だった。平成5年にその法律から外れている。機能分担や役割分担ができた公園作りが大切。
- ・清委員：浅間神社近くで手作りの公園を作っている。何年もかけて花を増やしたりしている。小貝川ふれあい公園のようないろいろな人が集まる場所を高野地区にも作りたい。整備の順序付けをしてほしい。
- ・村山委員：それぞれの地区で特徴のある公園づくりをしてほしい。
- ・梶澤委員：ドックランやパターゴルフなど、今の世の中にあった公園づくりをしてほしい。遊具の点検などは専門の人を常駐させて管理することも必要。また、小さな公園などは草刈りなどが大変。ある程度地元の人が管理する必要があるが大変。
- ・町田会長：今は多様性の時代で、これからの公園の在り方として、公園の役割を明確にする必要がある。
- ・清委員：シニアクラブの活動として、公園の清掃、月1回明神公園にてペタンクの活動をしている。
- ・小菅委員：公園で車いすの子どもが遊べる場がない。そういう場がほしい。
- ・町田会長：使われている公園、使われていない公園のデータも確認しながら計画を進めていきたい。
- ・藤田委員：地区の公園をどうしたいか、特徴のある公園づくりなど。
- ・町田会長：今度の会議の時、アンケートを踏まえどんな公園にしたいかを具体的に話す

ると色々な意見が散りばめられたガイドラインになるのではないか。

- ・藤門委員：障がいがある方が遊べる公園を作るのに必要なものはどんなものがあるのか。また、記載のスケジュールでは厳しいのではないか？
- ・奥野課長：令和5年度に終わらなければ、次年度に繰越し、しっかりと意見を聴きながら、とりまとめたい。
- ・町田会長：公園の効果についてもう少し深堀していきたい。
- ・津委員：資料記載の「身体」は×。「誰でも・・・」が良い。
- ・清委員：大規模、中規模、小規模と分けてそれぞれの公園の活用の仕方を考えていくべき。
- ・奥谷委員：守谷市にあった公園作りが必要ではないか。駐車場が少なく公園利用者が路上駐車する方が多い。そのため、利用する子供たちにも危険。駐車場を増やしてほしい。
- ・町田会長：本来は全部の公園がインクルーシブ公園で無いといけない。ただ、現実的には難しい。現実的なガイドライン制作が必要と考える。
- ・椛澤委員：開発にあたり公園はその何%か決まっているのか。
- ・守谷市：開発面積の3%
- ・長津委員：駐車場の問題がある。公園の機能を分けることで分散させることが必要ではないか。例えば、テニスができる公園や、球技だけができる公園など。
- ・町田会長：公園の使い方として、例えば、ボール遊びは全国的に問題になっている。他の利用者が不安にならない仕組み作りが重要。
- ・青山委員：さくらの杜公園や森林公園をモデル公園としてはどうか。
- ・町田会長：アンケートの目的、取り方などよく検討することが大切。
- ・椛澤委員：検討会で、東京都の公園見学を提案する。
- ・藤門委員：遊具の更新について教えてほしい。
- ・奥野課長：守谷市の長寿命化計画を共有する。
- ・青山委員：アンケートの質問内容について良く検討が必要ではないか。
- ・古谷委員：アンケート質問内容について、「通いやすさ」、「公園に行く交通手段は？」等の質問を入れてほしい。
- ・須賀委員：公園にどんな遊具があるのか、どんな公園なのかがわかるものがあると良い。
- ・清委員：公園の検索方法として、ホームページにどんな公園かがわかるように載せてほしい。
- ・小路委員：ガイドラインの必要性、使い方はどう考えているのか。
- ・町田会長：ガイドラインは、完成したら終わりということではない。
- ・奥野課長：ガイドラインは、公園の場所や大規模、中規模、小規模に応じたそれぞれの役割や公園整備の際の方向性を明確にするため策定する。
- ・小菅委員：2019年にも市長を交えて意見交換会を行ったが全く反映されなかった。今回のガイドライン作成では、その時の内容を反映させてほしい。
- ・小路委員：この検討会は、なぜ非公開なのか。議事録や傍聴を公開してほしい。
- ・町田会長：傍聴が必要か。傍聴者の方からの発言はできず、聞くのみだということを理解して欲しい。

- ・浅野部長：非公開にした理由として、この場は検討委員の皆様から活発な意見を出してもらうことが一番の目的である。傍聴の方が入ることで、意見を出しにくくなってしまわないか、懸念される。
- ・町田会長：議事録は、発言者の名前、要点を公開する。傍聴について検討会委員の意見を求める。

＜検討会委員＞ 賛成多数で次回検討会から傍聴者の参加を決定。

- ・小路委員：委嘱者が必ず出席しないといけないのか。代理で他の方が出て意見してもいいのではないか。
- ・奥野課長：会議の連続性や、地区の意見としての整合性が取れなくなる場合があるので、基本的に委嘱者の方に出席していただく。
- ・清委員：検討会のスケジュールを早めに決めて、連絡してほしい。

終了

- 6 今後のスケジュールの説明
- 7 その他説明
- 8 閉会

以上